

LESSON3 名詞文 「あなた(彼・彼女)は～です」

■ シュンレーマーリンは、一郎から COOL ASIA ミャンマー支店のスタッフを紹介されます。

一郎 : မ ရွှန်း ရေ သူ ကို အောင်အောင်ဦး ပါ။
ma. shun: ye thu ko aungaungu: ba

シュン : တွေ့ ရ တာ ဝမ်းသာ ပါ တယ်။
twe. ya. da wan:tha ba de

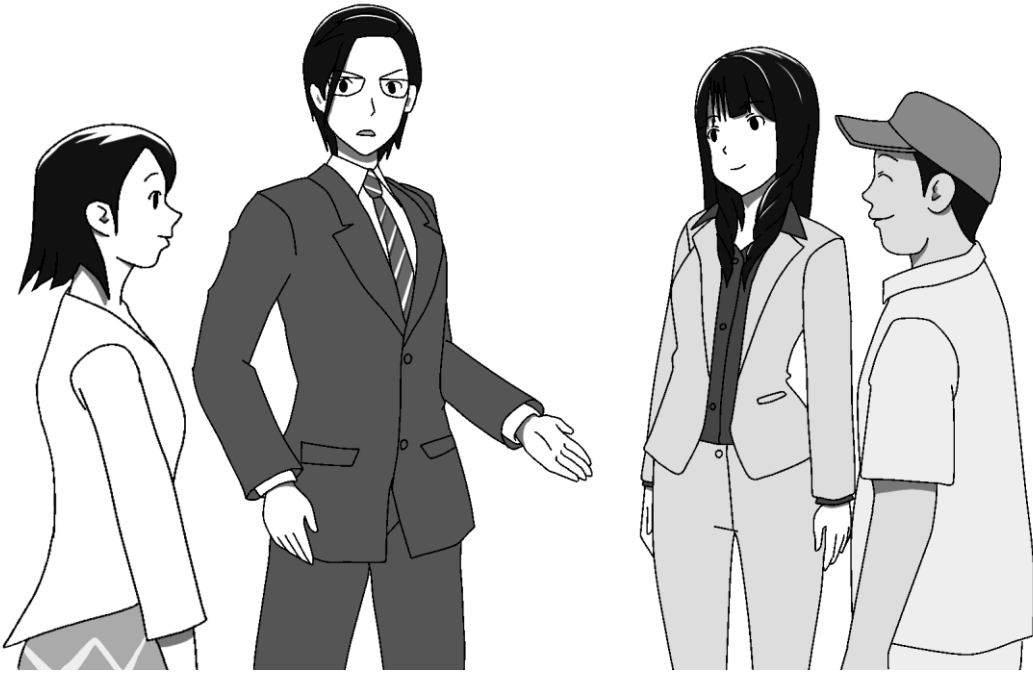
ကျမ ရွှန်းလဲ့မေလင်း ပါ။
cəma. shun:lɛ.melin: ba

一郎 : သူမ မ နအိုကို ပါ။
thuma. ma.naoko ba

သူမ ဂျပန်လူမျိုး ပါ။
thuma. jəpan lumyo: ba

シュン : မ နအိုကို ရင်းရင်းနှီးနှီး ဆက်ဆံ ပါ။

ma. naoko yin:yin:hni:hni:s'ε?s'an ba



語句・単語

၁၃၃ thu 彼

၁၃၄ thuma. 彼女

日本語訳

一郎：シュンさん、彼はアウンアウンウーさんです。

シュン：はじめまして。

私はシュンレーマーリンです。

一郎：彼女は直子さんです。彼女は日本人です。

シュン：直子さん、よろしく願いいたします。

■ あなたは N2 です

ခင်ဗျား/ရှင် N2 ပါ။

k'əmya:/ shin N2 pa/ba

■ 彼(彼女)は N2 です。

သူ N2 ပါ။

thu N2 pa/ba

【例文】

သူ ကို အောင်အောင်ဦး ပါ။

thu ko aungaungu: ba

彼はアウンアウンウーさんです

文法事項解説

今回は、「私」を主語にした名詞文を学習しました。今回は、主語にあたる N1 が「あなた」、「彼」、「彼女」になる場合を学習してみましょう。

構文自体は、前の課で学習した N1 N2 ဝါ[pa/ba]の形をとりますので、難しいことはありません。この課では、既に学習した「私」を含め、「あなた」、「彼」、「彼女」などの人称代名詞の単語とそれぞれの使い分けを確実に身に付けてください。

【人称代名詞の種類と使い分け】

人称	話し手の性別	使用する単語（発音）
一人称「私」	男性	ကျနော် (cəno)
	女性	ကျမ (cəma.)
二人称 「あなた」	男性	ခင်ဗျား (k'əmya:)
	女性	ရှင် (shin)
	男女共通	မင်း (min:) နင် (nin)
三人称 「彼、彼女」	男女共通	သူ (thu) သူမ (thuma.) ※

上記いずれも複数形にするには後に ဝို့ [do.] をつけます。

※ 対象が女性であることを明確に示したいときに使用。

◎ ミャンマー語の人称代名詞を覚えましょう

(1) 一人称（私）、二人称（あなた）の使い方

まず、「私」（一人称）、「あなた」（二人称）について、見ていきましょう。
上の表「人称代名詞の種類と使い分け」でもご覧いただけるように、話し手が男性の場合と女性の場合で、例えば同じ「私」という意味でも、異なる単語を使う場合があります。以後、この点にしっかり注意して、一つひとつ確実に覚えてください。

① 話し手が男性の場合

◆ 私 ကျနော် [cəno]

※ 俺 ငါ [nga] ～ くれた言い方です。ビジネスシーンでは使わないようにしましょう。

◆ あなた ခင်ဗျား [k'əmya:] ～注

② 話し手が女性の場合

◆ 私 ကျမ [cəma.]

◆ あなた ရှင် [shin] ～注

③ 話し手が男女共通（男女どちらが使っても良い単語）

◆ あなた မင်း [min:] နင် [nin] ～注

注1～ 相手によっては、「あなた」を表す ခင်ဗျား や ရှင် を使用することが失礼になる場合があります。なるべく名前、肩書き、親族名称などの呼び方で呼ぶようにしましょう。

また、မင်း [min:] နှင့် [nin] についても、仲の良い若者同士が使う場合が多く、相手に応じて慎重に使い分けなければならないのは同じです。

(2) 三人称 (彼、彼女) の使い方

◆ 彼／彼女 သူ [thu]

「彼」と「彼女」という意味を表す単語は、いずれも သူ [thu] です。この単語は、話し手が男性でも女性でも使えます。

◆ 彼女 သူမ [thuma.]

「彼」と「彼女」が同じ သူ [thu] という単語なのは便利である一方、その対象が男性なのか女性なのかわかりにくい場合もあるでしょう。唐突に「သူ [thu] は日本人だ」と言われても、その方が男性なのか女性なのかは、文脈で判断するか、相手に聞いてみるしかありません。

そこで、対象が女性であることを明確に示したい場合などに、သူမ [thuma.] という単語を使います。これを使って「သူမ [thuma.] は日本人だ」と言えば、その対象は女性に限られます。

【注意】

これまで学習した人称代名詞は、「所有格」(「わたしの車」など、物の所有などを表す場合。あとから学習します)を表す場合や特定の単語 (ကို, မှာ, ဆီ, နောက် など) の前に付く場合、最後の文字が低平調であるものは、文字表記・発音ともに下降調に変わります。

【例】

彼女သူ [thu] ⇒彼女のသူ့ [thu.]

(3) 丁寧な表現

会話の文末にခင်ဗျား (k'əmya:) やရှင် (shin) をつけると、非常に丁寧な言い方になります。この場合、男性はခင်ဗျား (k'əmya:) を、女性はရှင် (shin) を使います。

(例) わかりました。

နားလည် ပါ တယ် ရှင်။

na:lɛ ba dɛ shin

ただし、相手が先生や僧侶などの場合では、ခင်ဗျား やရှင် を使わずに、「先生 (ဆရာ[s'əya])」、「お坊さま ဆရာတော် [s'əyado:] / အရှင်ဘုရား [əshinp'əya:]」などを使います。

(4) 敬称

① 男性につける敬称

◆ မောင် [maun] ～くん 相手が自分より年下の場合

◆ ကို [ko] ～さん、～くん 相手が自分と同年輩か少し年上の場合

◆ ဦး [u:] ~さん 相手が ဣ の場合より年上の場合

② 女性につける敬称

◆ မ [ma.] ~さん 相手が自分より年下、同年輩または少し上の場合

◆ ဒေါ် [dɔ] ~さん 相手が မ の場合より年上の場合

(5) 呼びかけの ဇေ့ の使い方

会話文中、一郎がシュンに対し、「シュンさん」と呼びかける際、

မ ရွှန်း ဇေ့

ma. shun: ye

と、敬称「~さん」မ [ma.] と共に ဇေ့ という単語を使っています。これは、呼びかけに際して、親しみを込めてつける表現です。

この表現は、ビジネスや初対面の機会には使いません。主に、家族同士の「母から娘に呼びかける場合」や年上から年下、上司から部下などの呼びかけに使われますので注意して使ってください。